

初心運転者(準中型・普通・軽自動車)の起こした交通事故 (5年間・平成26～30年)

1 最近5年間の交通事故発生状況

最近5年間の交通事故発生状況を見ると、初心運転者による人身交通事故は減少傾向であり、昨年の初心運転者による事故は199件で前年とほぼ同数であるが、5年の平成26年と比較して141件と大幅に減少した。

平成30年の初心運転者が全運転者に占める率は1.51%であるのに対し、初心運転者の事故は全運転者事故の4.28%と免許保有率と比較すると3倍近くの高い割合を示す。さらに、全運転者の事故率は0.33%であるのに対し、初心運転者の事故率は0.93%と3倍近くの高率であり、初心運転者は事故率が高いことが伺える。

区 分	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
初心運転者事故	340	297	281	200	199
全運転者事故に占める率	4.33	4.21	4.41	3.70	4.28
初心運転者数	21,523	21,543	21,688	21,872	21,360
全運転者に占める率	1.51	1.52	1.53	1.54	1.51
初心運転者事故率	1.58	1.38	1.30	0.91	0.93
全運転者事故	7,854	7,062	6,372	5,412	4,647
全運転者数	1,422,931	1,421,716	1,420,115	1,417,211	1,415,132
全運転者事故率	0.55	0.50	0.45	0.38	0.33

注1: 運転者数は各年12月末現在。(県データによる)

注2: 初心運転者数については、準中型免許・普通免許合格者数を示す。

注3: 初心運転者・全運転者事故率とは、運転者数100人あたりの事故件数をいう。

注4: 初心運転者事故には、失効後等の1年未満運転者事故を含む。

2 月別発生状況

過去5年間の初心運転者の月別発生状況を見ると、12月、7月の順に発生が多く、特に5月から年末にかけて発生率が平均より高率で、免許取得後、社会人や大学生等になって実際に運転できる時期になってから発生率が高くなっている。

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成26年	24	27	28	30	24	29	34	31	30	25	24	34	340
平成27年	30	24	18	19	20	29	24	24	26	31	24	28	297
平成28年	18	19	21	16	33	27	25	29	24	20	23	26	281
平成29年	20	14	18	10	19	16	17	16	10	22	16	22	200
平成30年	20	14	11	10	23	17	20	16	12	20	21	15	199
5年間計	112	98	96	85	119	118	120	116	102	118	108	125	1,317
全運転者事故に占める率	3.5%	3.2%	3.2%	3.1%	4.1%	4.2%	4.2%	3.9%	3.8%	4.1%	3.5%	3.6%	3.7%

3 初心運転者の男女別

初心運転者事故を男女別にみると、全運転者事故と初心運転者事故で発生率に大きな違いはみられないが、初心運転者の普通・準中型免許保有者数は男女比率がほぼ半々であることから考えると、男性の構成率(64.4%)は高いといえる。

性 別	人 身 事 故 件 数		普通・準中型免許保有者数				免許保有者1000人当たりの人身事故件数			
	初心運転者事故	全運転者事故	初心免許保有者	全免許保有者	構成率	構成率	初心運転者	全運転者		
男 性	848	64.4%	19,909	63.5%	56,174	52.0%	3,793,853	53.5%	15.1	5.2
女 性	469	35.6%	11,438	36.5%	51,812	48.0%	3,303,252	46.5%	9.1	3.5
合 計	1,317	100.0%	31,347	100.0%	107,986	100.0%	7,097,105	100.0%	12.2	4.4

4 初心運転者の原因別

初心運転者事故を原因別に分析すると、信号無視、最高速度違反等、若者の無理な運転での事故の発生率が特に高いほか、ブレーキ等操作不適や前方不注視である漫然運転や脇見運転での事故も目立つ。初心運転者は運転不慣れな割に、スピードの出し過ぎや、無理な運転をする傾向が見られる。

原因別	初心運転者事故						全運転者事故	
	計	構成率	男性	構成率	女性	構成率	計	構成率
信号無視	89	6.8%	61	7.2%	28	6.0%	1,403	4.5%
通行区分	9	0.7%	6	0.7%	3	0.6%	136	0.4%
最高速度違反	21	1.6%	20	2.4%	1	0.2%	239	0.8%
追越し違反	4	0.3%	3	0.4%	1	0.2%	223	0.7%
横断・転回禁止違反	38	2.9%	25	2.9%	13	2.8%	1,116	3.6%
右・左折違反	8	0.6%	6	0.7%	2	0.4%	253	0.8%
歩行者妨害等	19	1.4%	9	1.1%	10	2.1%	778	2.5%
優先通行妨害	127	9.6%	70	8.3%	57	12.2%	2,714	8.7%
交差点安全通行	62	4.7%	33	3.9%	29	6.2%	2,730	8.7%
一時停止違反	105	8.0%	67	7.9%	38	8.1%	2,719	8.7%
交差点の徐行	23	1.7%	15	1.8%	8	1.7%	888	2.8%
安全運転								
ブレーキ等操作不適	91	6.9%	59	7.0%	32	6.8%	1,810	5.8%
脇見運転	326	24.8%	218	25.7%	108	23.0%	7,011	22.4%
漫然運転	236	17.9%	152	17.9%	84	17.9%	4,606	14.7%
その他	125	9.5%	81	9.6%	44	9.4%	4,024	12.8%
その他	34	2.6%	23	2.7%	11	2.3%	697	2.2%
合計	1,317	100.0%	848	100.0%	469	100.0%	31,347	100.0%
飲酒運転	14	1.1%	11	1.3%	3	0.6%	365	1.2%

5 初心運転者の事故類型別

初心運転者事故の事故類型を分析すると、速度の出し過ぎや運転未熟による対向車線にはみ出での正面衝突事故が5.1%と全事故と比較して1.9ポイント高い。また、前方不注視等による追突事故も6.4ポイント高く、これらは初心者が起こしやすい事故特徴と考えられる。

事故類型別	初心運転者事故						全運転者事故		
	計	構成率	男性	構成率	女性	構成率	計	構成率	
人対車	横断歩道横断	15	1.1%	7	0.8%	8	1.7%	679	2.2%
	その他横断	15	1.1%	8	0.9%	7	1.5%	797	2.5%
	その他	18	1.4%	13	1.5%	5	1.1%	1,055	3.4%
	小計	48	3.6%	28	3.3%	20	4.3%	2,531	8.1%
車両相互	正面衝突	67	5.1%	48	5.7%	19	4.1%	994	3.2%
	追突	648	49.2%	415	48.9%	233	49.7%	13,408	42.8%
	出会頭衝突	293	22.2%	190	22.4%	103	22.0%	7,784	24.8%
	右左折衝突	145	11.0%	80	9.4%	65	13.9%	3,598	11.5%
	その他	80	6.1%	56	6.6%	24	5.1%	2,318	7.4%
	小計	1,233	93.6%	789	93.0%	444	94.7%	28,102	89.6%
単独事故	36	2.7%	31	3.7%	5	1.1%	712	2.3%	
踏切	-	-	-	-	-	-	2	0.0%	
合計	1,317	100.0%	848	100.0%	469	100.0%	31,347	100.0%	